

# 精神保健福祉施策の改革ビジョン(平成16年9月)における目標値

基本方針において、「受け入れ条件が整えば退院可能な者約7万人については、全体的に見れば、入院患者全体の動態と同様の動きをしており、精神病床の機能分化・地域生活支援体制の強化、立ち後れた精神保健医療福祉体系の再編と基盤強化を全体的に進めることにより、10年後の解消を図るものである。」とされており、その上で、以下の達成目標が掲げられている。

## ① 国民意識変革の達成目標

- 精神疾患は生活習慣病と同じく誰もがかかりうる病気であることについての認知度を90%以上

(考え方)

- 精神疾患を正しく理解し、態度を変え行動するという変化が起きるよう精神疾患を自分自身の問題として考える者の増加を促す。

## ② 精神保健医療福祉体系の再編の達成目標

- 各都道府県の平均残存率(1年未満群)を24%以下
- 各都道府県の退院率(1年以上群)を29%以上

※ この目標の達成により、2015年には約7万床相当の病床数の減少が促される。

(考え方)

- 新規に入院する患者については、入院中の処遇の改善や患者のQOL(生活の質)の向上を図りつつ、できる限り1年以内に速やかに退院できるよう良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制整備を促す。
- 既に1年以上入院している患者については、本人の病状や意向に応じて、医療(社会復帰リハビリテーション等)と地域生活支援体制の協働の下、段階的、計画的に地域生活への移行を促す。

# 国民意識の変革の達成目標とその進捗

## 達成目標

精神疾患は生活習慣病と同じく誰もがかかりうる病気であることについての認知度を90%以上とする。

## 進捗

### 「こころのバリアフリー宣言」の内容に関わる調査結果(H18年)

「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合 ※( )内は、うち「そう思う」と回答した者の割合

- 「こころの健康」への関心; **82.1%** (35.6%)
- 精神疾患を自分の問題として考えている; **42.2%** (13.2%)
- ストレスを減らす生活を心がけることが必要である; **94.5%** (66.8%)
- こころの不調に早く気づくことが大事である; **96.2%** (73.2%)
- 精神疾患は早期の治療や支援で多くは改善する; **91.2%** (54.7%)
- **精神疾患は誰もがかかりうる病気である; 82.4% (46.4%)**

平成18年度厚生労働科学研究「精神保健医療福祉の改革ビジョンの成果に関する研究」  
主任研究者; 竹島正

### (参考) (H9年)

- 激しく変化する現代社会では誰でも精神障害者になる可能性がある;  
「そう思う」と回答した割合 51.8%

(平成9年 全国精神障害者家族会連合会)<sub>46</sub>

# 精神疾患に対する国民の理解

## 調査方法

対象;人口1,000万人間隔の自治体5ヶ所の20~70歳の地域住民計2,000人

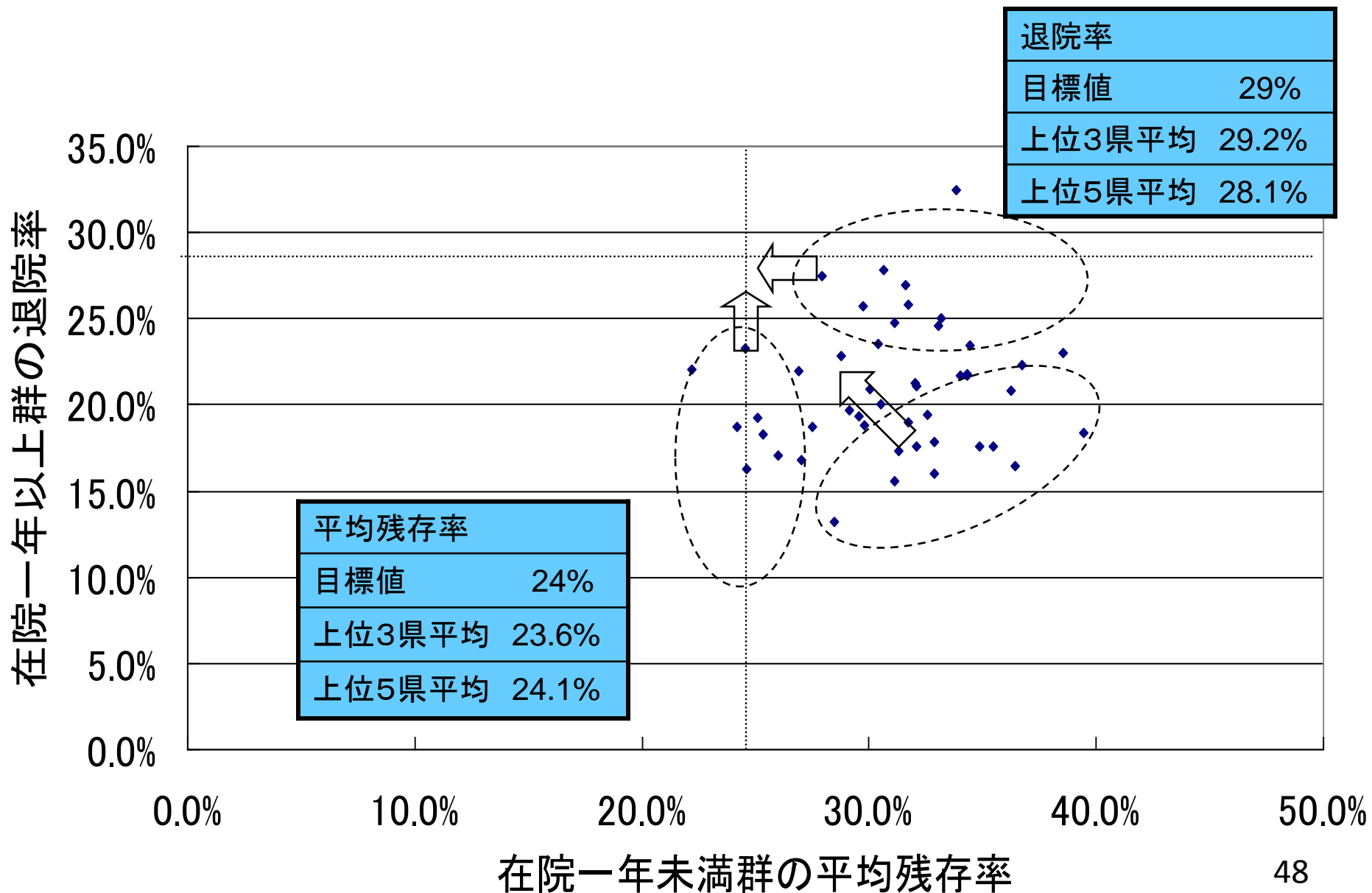
方法;統合失調症、大うつ病性障害、広汎性発達障害、アルコール依存症、糖尿病の事例のうちの1種類について、その病名を回答するよう依頼

## 結果

対象の属性;男女:各1,000人、年齢:10歳毎の各年齢においてそれぞれ400人

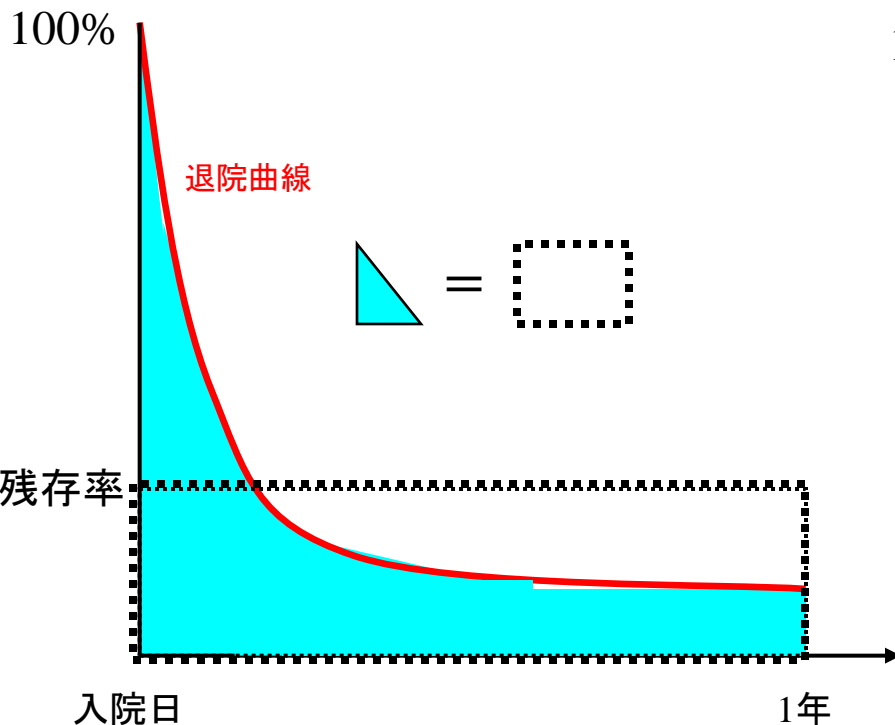
事例 \ 回答	統合失調症	うつ病	自閉症	アルコール依存症	糖尿病	こころの病気	からだの病気	ストレス
統合失調症	4.8%	38.6%	1.8%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	14.0%
大うつ病性障害	1.4%	58.6%	0.2%	0.0%	0.2%	15.4%	0.8%	17.4%
広汎性発達障害	0.4%	0.4%	45.8%	0.2%	0.0%	11.4%	0.2%	3.6%
アルコール依存症	0.0%	1.2%	0.0%	85.0%	0.2%	4.2%	0.0%	7.6%
糖尿病	0.1%	0.1%	0.0%	0.4%	87.5%	0.1%	1.2%	1.2%

# 設定時の各都道府県の平均残存率、退院率



(参考)

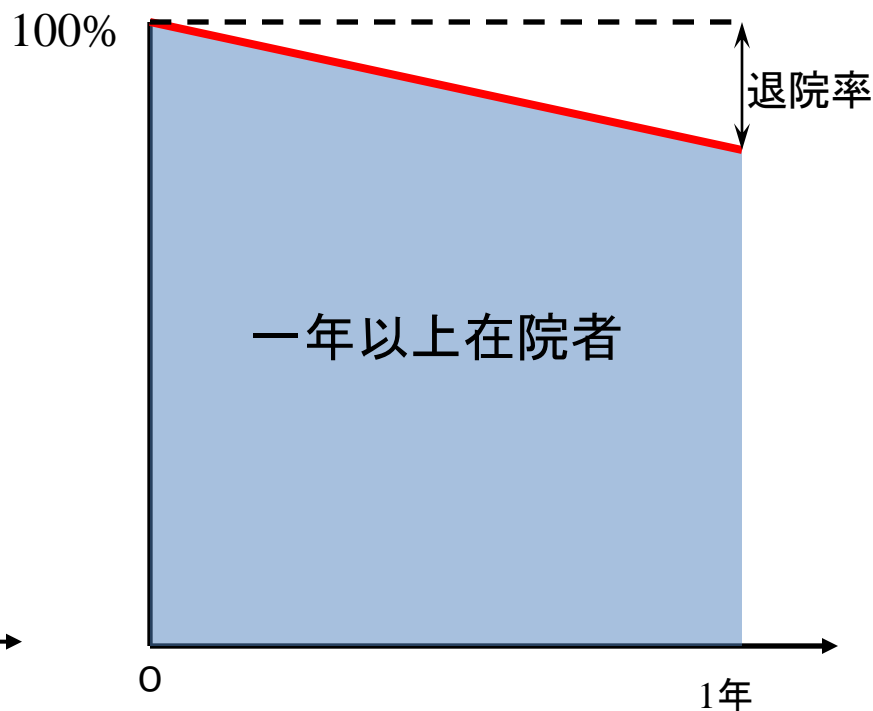
## 平均残存率(一年未満群)



1年以内の退院(残存)曲線が囲む面積と同じとなるよう、各月の残存率を平均したもの。

平均残存率に毎年新規入院患者数を乗じて得た数は、1年以内入院患者にかかる必要病床数となる。

## 退院率(一年以上群)

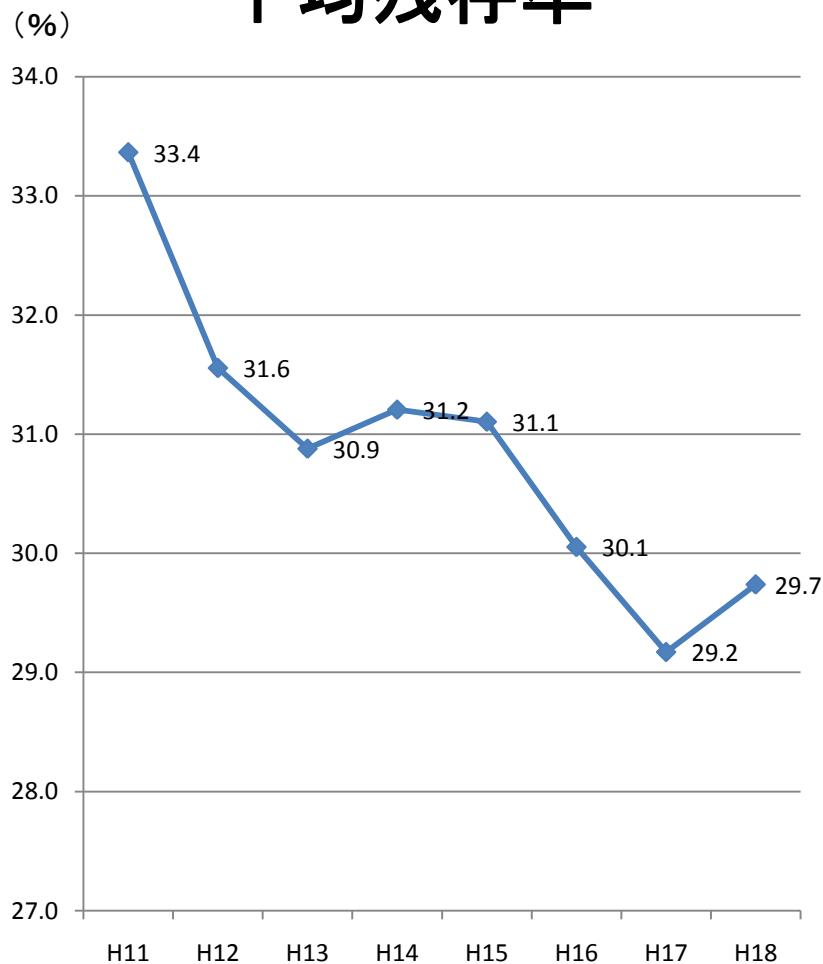


1年以上の在院患者から退院する者の数を1年以上の在院患者数で除したもの。

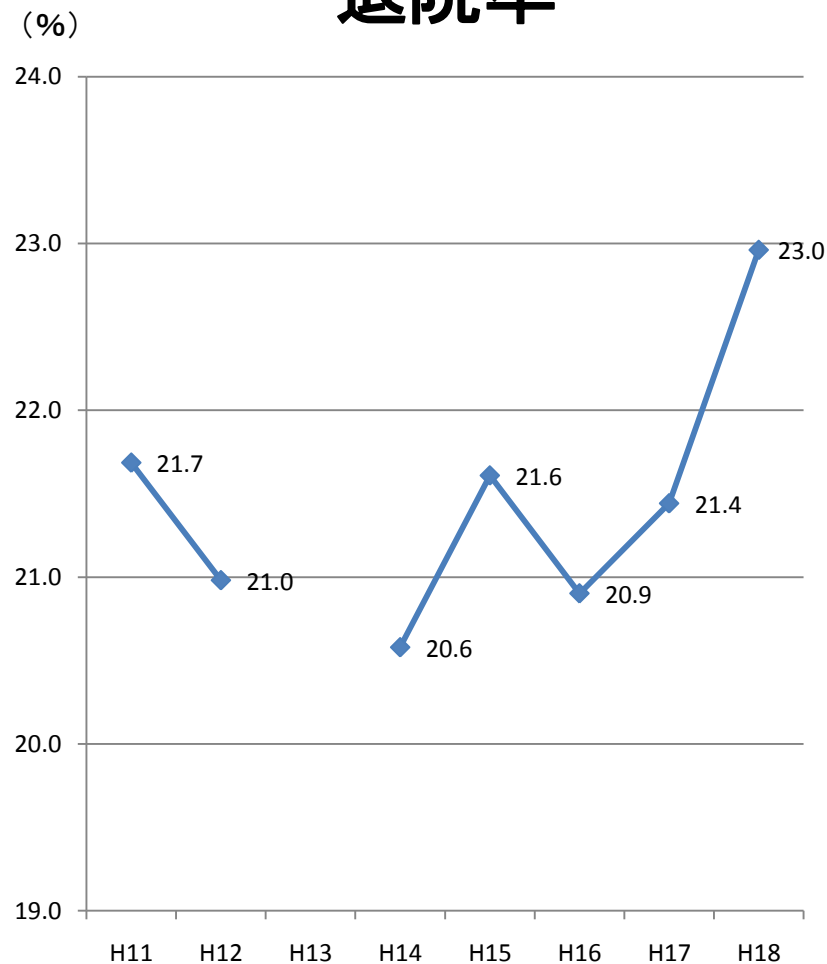
退院率に1年以上の在院患者数を乗じて得た数は、1年以上の在院患者からの毎年の退院数となる。

# 平均残存率・退院率の推移

## 平均残存率



## 退院率



注:平成13年のデータの欠落は、調査方法の変更によるもの(毎年の調査において、H13までは前年のデータを収集していたものを、H14年から当該年のデータを収集するよう変更したため)